



平成30年2月26日

各 位

上場会社名 近鉄グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 吉田昌功
コード番号 9041
上場取引所 東京・名古屋（第1部）
問合せ先 経営戦略部長 保川敏雄
(TEL 06-6775-3427)

連結子会社（株式会社近鉄百貨店）の平成30年2月期の
業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社近鉄百貨店が、平成30年1月12日に公表した平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の業績予想を別添資料のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上



平成30年2月26日

各 位

会 社 名 株式会社 近 鉄 百 貨 店
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 高 松 啓 二
(コード番号8244 東証第1部)
問 合 せ 先 執行役員 経理本部長 泉 川 邦 充
(TEL. 06-6655-7030)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期において、下記のとおり特別損失の計上を行うこととしましたので、お知らせいたします。また、平成30年1月12日に公表いたしました平成30年2月期通期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の業績予想を下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、次期中期経営計画の策定にあたり、一部店舗の商品政策を再構築することとしております。これに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく資産のグルーピングを見直した結果、生駒店（奈良県生駒市）に帰属する事業用資産（土地、建物等）について、時価の著しい下落により減損の兆候が認められたため、連結および個別決算において、帳簿価額と回収可能価額との差額 30 億円（概算）を減損損失として特別損失に計上することとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	271,100	3,900	3,300	2,600	64.39
今 回 修 正 予 想 (B)	281,500	4,800	4,200	1,200	29.72
増 減 額 (B - A)	10,400	900	900	△1,400	—
増 減 率 (%)	3.8	23.1	27.3	△53.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期)	266,477	3,062	2,698	1,715	42.49

当社は、平成29年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。当該株式併合が前連結会計年度の開始の日には実施されたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 平成30年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 249,200	百万円 3,200	百万円 2,600	百万円 2,300	円 銭 56.96
今回修正予想(B)	259,200	4,000	3,400	700	17.34
増減額(B-A)	10,000	800	800	△1,600	—
増減率(%)	4.0	25.0	30.8	△69.6	—
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	244,417	2,042	1,580	1,031	25.55

当社は、平成29年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。当該株式併合が前事業年度の開始の日に実施されたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(3) 修正の理由

近鉄百貨店において、主に基幹店であるあべのハルカス近鉄本店の売上高が当初の想定を上回ったことから、当期業績見通しを精査した結果、連結および個別の売上高、営業利益、経常利益はいずれも前回発表予想を上回る見通しとなりました。

しかしながら、上記1. のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上することとなりましたため、連結および個別の純利益は前回予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上